

## 災害をイメージする練習「目黒巻」

### ① 目黒巻を使って自分だけの物語を書いてみよう！

これから「目黒巻※」を使って、災害時の状況を想像して物語を書いてみます。プリントに、「数分後」「数時間後」「数日後」と書かれていますね。その時間、自分がどんなことをしているか、まわりがどんな状況になっているかを書き込んでいきます。『地震の後のおはなし』なら、どんな状況を想像してもだいじょうぶです。良いこと、悪いこと、びっくりすること・・・自由に書いてみましょう！

### ② スタートの状況を記入します。

まず、左側の「設定」を記入しましょう。

震度： 【            】 ※建物が壊れたりする揺れ 6強～7  
季節： 【            】 ※夏か冬がイメージしやすいでしょう。  
天候： 【            】 ※晴か雨がイメージしやすいでしょう。  
曜日： 【            】 ※授業がある日がよいでしょう。  
時刻： 【        :        】 ※お昼～下校時間がよいでしょう。

あなた：自分の名前と、家族のなかでの立場（姉・妹・兄・弟など）

家族：いつもの水曜日のお昼、家族がどこで何をしているか書きましよう。例）父は\*\*で仕事、母は自宅、姉が大学にいる・・・など

### ③ どうしても物語が書けないときは・・・

こんなことを考えてみましょう。

【?】地震が起こったら、いつ、どこにいけばいいのかな。

【?】友達や家族は大丈夫かな。どこで、何をしているかな。

【?】家族とは、いつごろ連絡がとれるかな。どうやって連絡できるかな。

※ どうしても書けないときは先生にも相談してみましょう。最初は、近くの人と相談しないで一人で考えてみましょう。

### ④ 時間になったら、書くのをやめて班で話し合ってみましょう。

- 1) お互いの目黒巻を見せ合ってください。
- 2) 気がついた点や、おかしいところ、分からないところなどをお互いに言い合ってみましょう。
- 3) 出てきた意見は、どんどん自分の目黒巻に書き込んでいきましょう。
- 4) 時間になったら終わりです。おつかれさまでした。

★ 最後に、先生が大事なことを言うのでしっかり聞いておきましょう！

★ 不安なこと、心配なことが見つかったら家族や先生と一緒に事前に考えておくことで、いざという時に落ち着いて行動することができます。